
物書き志願の迷走日記～いい作品って何なわけ？

青朱白玄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

物書き志願の迷走日記～いい作品って何なわけ？

【Zマーク】

Z0938X

【作者名】

青朱白玄

【あらすじ】

青朱白玄が、なろうで少しでもたくさん的人に読んでもらうにはどうしたらいいのか、あれこれ考える日記みたいなものです。テーマがあれば書くし、なければ書きようがない。ただそれだけの文章です。解答求む！

いい作品つて何なわけ？（前書き）

「注意・これはあくまで青朱白玄が勝手にあーだこーだと考えたことをつづるもので、いろいろ考えはあるけど、決定的な結論が書いて書いているというわけではないことをご了承ください。また、本文中で「これってあの作品の」とか、「と思われたとしても、違います。

断言できるのは、不特定多数に当たるひとをいつどが多いからです。

もし作品名を出して差し支えないようなら、作品名を挙げます。

いい作品って何なわけ？

いい作品って何なわけ？

「注意…これはあくまで青朱白玄が勝手にあーだこーだと考えたことをつづるもので、タイトルについて考えはするけど、決定的な結論があつて書いてこるというわけではないことを」了承ください。また、本文中で「これってあの作品のこと？」と思われたとしても、違います。

断言できるのは、不特定多数に当てはまることをいつことが多いからです。

もし作品名を出して差し支えないようなことであれば、作品名を挙げます。

・ 小説作法って大事なの？

出版書籍、小説の書き方入門サイト、どちらでもまず最初に叩き込まれるであろうものが、小説作法です。

具体的には、セリフ終わりにまる（。）はいらない、！や？の後に文字を続けるときには全角スペースをひとつ空ける、てんてんてんは「……」のように、二点リーダをふたつセツトで使う、などです。

（ は一例です。もっと細かくありますし、青朱が知らないのもあるかもしません）

こういうルール、本当に守る必要があるんでしょうか？

確かに一般公募に出したり出版社に持ち込みしたりするには、このルールは必要と思われます。

ですが、出版されている商業作品の中にも、ルールを守つていな
い作品は現実にあります。

青朱としては、ルールがあり、それを知つてゐるからには守らう
かな、と思つています。

でも、なろうでこれが必要なんですかね？
守つてゐる作品のほうが少なそうなんですが……。

- ・才能があればそれでいいの？

才能はある方がいい。そりや そうだ。
才能がある人のほうがない人よりいい作品を書くことが多いだろ
うことは簡単に想像できます。

でも、才能だけで突っ走つて評価いっぱいもらつていても、誤字
や脱字が多数放置されたりすると、「？」と思つてしまつわけ
ですよ。

作品を良くしたいと思つてないんじゃないいか？
とね。

特定の作品を想像してはいませんよ～。

才能は最初からもらえるアドバンテージで、そこに積み重ねるもの
がないと努力型の方がいい作品を作れるんじゃないのかな？
というのが、青朱の考え方です。
いかがでしょうか？

- ・それは本当の人気作品？

上位にランキングされているから読み始めて、面白いと思つて評

価まで入れる。

悪いことでも何でもありません。

ただ、ランキングってそこまでにしていいものなんでしょう
か？

いや、いいとか悪いとかじゃなくて、楽だからランディングを見る
んじゃないかな。

まったくもってその通り。

ですが、その評価がその作品をさらに他作品から浮上させる一方
で、もっと面白いかもしない作品が逆に埋もれていくわけです。

人気つてのは実にあやふやなもので、流行とか、情報操作とか、
宣伝効果とかでガシガシ揺れてしまします。

上位に安定した作品はそんなことではびくともしないでしょうけ
ど、そうでない作品は大変です。

私の作品も、第一集が完結した途端、完結した連載作品、に表示
されたこともあると思われますが、ぐんとアクセスが伸びました。
お祭り状態です。

その一時的人気の後は、へによへによへによ（笑）

連載時よりアクセス激減。

ま、それが何ってわけでもないんですけどね。

・評価が評価になつてない？

上で書いたことにぼんやり含まれていますが、高評価・高ランキ
ングはさらなる読者を呼び、どんどん他と差がついて……。

私の作品だけじゃなくて、影響受けてるの、評価もアクセスも少
ない作品すべてだと思うのですよ。

・商業作品は売れればいい。じゃあ「なんひとつ」では？

難しいですよね。

読まれてなんぼ、評価されてなんぼなわけですが、読んでもういつには飛び抜けた才能とかすでに持つている知名度とか並外れた運とかがない人は、地道な宣伝活動からあれこれと、やらないといけないことがたくさんあります。

自助努力は大いにあり。でも反則ストレスの手段もあるっちゃあるわけで……。

絶対、したくありませんけどね。

青朱はそういう点、頑固ですか？

(どうでもいいこと一本辯ひどうでもよくなるんですけどね～)

・おまけ：テンプレと王道

元はあるで違う意味だったと思われるこのふたつ、今では区別なしで使われているような気がします。

受けを取れる（取りやすい）テンプレ＝王道。

これですら微妙に違うような気がするのですが、テンプレと王道ってどう違うの？

という感覚なんじゃないかなーと思つたり。

以下、ネット検索すらしない勝手な解釈です。

王道……確立された型で、それを外れないで創れば受けやすい

テンプレ……流行の型で、それを外れないと創れば受けやすい

流行は時代で流れていますが、王道は簡単に流れません。

何せ時間をかけて定着したものですか。

でも、ラノベ作品でこれらを区別する必要があるのか？意識する必要があるのか？

答えは出ません。

あるいはただ漠然とした、テンプレへの反抗意識のみ……。

……つづくでしょうかね、これ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0938x/>

物書き志願の迷走日記～いい作品って何なわけ？

2011年10月9日15時54分発行